

五、休業發表後、運動

工場閉鎖後、議團ハ夫々部係、編成ヲ為シ
月島労働會館ニ會議本部ヲ置キ警備、傳令、宣
傳、運動部等十六部係ヲ設ケ會議系生ト共ニ
屋外、某會運動ハ禁マシテ皆所轄自島署長ヨ
リ嚴命セル為止リテ得テ職工自定其他一部
署ヲ定メ連日屯集シテ結束ニ努メ持久對峙
ヲ為シ十七日ヨリ約三百名ノ行商隊ヲ組織シ
テ出勤シ十五日以後數回ニ涉リテ芝浦、洲崎
埋立地上野九段及社長重役等ノ私宅訪問ヲ
名トシテ示威運動ヲ敢行シ一面僅後訪問者
負等ハ屢々社長以下重役私宅重シク株主宅
等ヲ訪問シテ陳情シ神田青年會館月島労働

會館、芝島活働寫真館等一於テ數回、演說會
ヲ催シ又ハ種々ナル印刷物ニヨリ宣傳ヲ為
シ目的、貫徹ニ努メタルハ會社側ノ態度強
硬ニシテ交渉ニ惹セズ職工側ノ結束亦極メ
テ強固ニシテ容易ニ妥協ノ望ミナク其ノ間
辯護士市地辰治及元全會社頭目々リシ存藤
市太郎等二十五日頃ヨリ調停スヘク廣心シ兩
者間ニ奔走シ解決ノ曙光ヲ見ルカ如クシ
テ一部ノ反對ニヨリ遂ニ實現スルニ至ラズ
大會社側ノ對策
會社側ニ於テハ幹部間ニ多少意見ノ相違アリ
リシ如ク對策トシテ見ルヘキニ少クシテ
廿一日各職工自定ニ就業希望申出デテ